

学校及び地域の特色

1 地域の概要

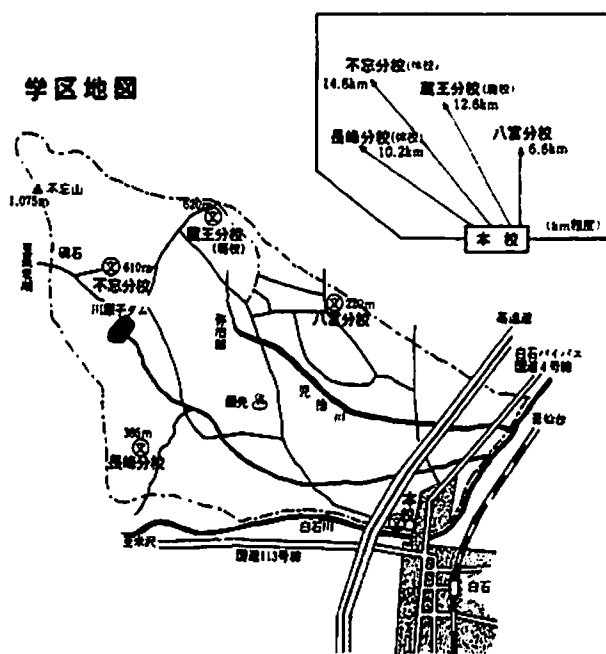
福岡地区は、白石川を境に市の北西部に位置し、蔵王連峰不忘山麓の川原子、長峰、八宮地区から、国道4号線沿いの住宅地域まで東西約14km、南北約5kmに及んでいる。

その大部分は不忘山麓の原野であり、明暦中から開墾事業が盛んに行われてきたが、現在は山麓周辺は酪農、八宮、蔵本周辺は農業、長袋周辺は、工場や住宅地となっている。

かつては、この広大な学区に不忘・長峰・蔵王・八宮と4つの分校があったが、休校や廃校が続き、現在は本校と公立刈田総合病院分校の2校となっている。

また、地区内には、開湯600年とも言われる名湯、鎌先温泉や弥治郎こけし、宮城蔵王白石スキー場などの観光資源もあるが、近年の長引く不況で人口の流出が続き、市内全体で過疎化、少子高齢化が進行している。

学区地図



2 学校の概要

【本校】

本校は、白石川を挟んで市街地を見下ろす高台にあり、ここはかつて、伊達政宗が上杉軍と対峙し、白石城を攻略した際に陣を構えた場所であり、「福岡蔵本字陣場」と現在もその住所に名残をとどめている。児童数は、平成13年に300名を切ったからは230～250名前後で推移している。また、近年は、深谷小学校の分校があった三住地区から本校に通学する児童も出てきて、市民バスやスクールバスを利用して通学する児童が50名以上に達している。

PTA活動も盛んで、『バレーボール大会』や『校歌を高らかに歌う集い』で保護者が交流を深めており、地域の方々も、諸々の学校支援やボランティア活動に協力的である。

【病院分校】

公立刈田総合病院の新築移転に伴い、平成19年3月に、白石第二小学校から福岡小学校に移管された院内学級である。病院分校自体は平成20年10月で、創立50周年を迎えた。

病気やけがで入院している児童は、学区にかかわらず県内外どの地区からも入級が可能である。入院中に学習の遅れがないよう、治療、訓練と学習を調和させながら教育を行っている。中学校も併設されており、小中の交流のほか、校外学習や芋煮会などの活動も充実しているが、近年は長期に入院加療する児童が少なくなっており、平成25年度から2年間は在籍児童は0名だった。